

みんなの声を力に ともに明日をひらく

日本共産党 京都府会議員

# ばばこうへい

プロフィール●1981年生まれ。バイオベンチャーの技術者、労働組合の書記を経て、京都府議3期目。  
府民環境・厚生常任委員として、コロナ対策、温暖化・エネルギー対策にとりくむ。家族は妻と3歳から  
13歳までの子ども4人

<http://babakohei.jp/>  



相談→署名運動→議会要請→拒絶→当局との折衝→議会質問。  
その6年間にわたる積み重ねが行政を動かすことになりました。

高齢化が進む府営住宅や市営住宅で切実な要求になつていているエレベーター設置。「行政の基準に合わない」と放置されてしましました。しかし、醍醐地域の小栗栖西団地では、住民の署名と私の議会での追及が実つて、6年越しに「設置不可」の壁を突破しました。次は、「すべての団地にエレベーターを設置」が目標です。

馬場さんは  
伏見になくては  
ならん人

奥田 厚さん  
(桃山町弾正島在住)

府会



## 「すべての団地にエレベーター設置」へ 大きな一步



コロナの影響調査のため、何度も行ったハローワーク前のアンケート。非正規やパートの労働者の思いを胸に刻む場面。

ハローワーク前調査では、「コロナで保育園が休園になり求職中」という保育士や、「バイトがなくなり大学はやめる」という学生。商店街では、「コロナに物価高騰。先が全く見えない」「お客様さんの給料が上がらないのに、値上げは無理」という店主。これからも現場の声に応え、若者や働く人々、事業者とともに歩み、府政を動かします。

## 「転落名所」に防護柵が

私の家のすぐ近くは十石舟で有名な宇治川派流ですが、弁天橋より東は、毎年のように転落事故が起きる「転落名所」になっていました。馬場さんが住民と一緒に土木事務所に要望し、府にも働きかけてもらって、200mほどにわたる防護柵ができました(左の写真)。これで自転車の人も子どもたちも安心です。馬場さんは、議会の合間をぬって地域をよく回ってくれ、行政にも明るい議員さんです。伏見になくてはならん人です。



「いのち・暮らし」守る市政に変える!

日本共産党 京都市会議員

# 赤阪仁 ひとし

プロフィール●高知大学卒業後、京都市立の小学校教諭。京都教職員組合書記次長。  
京都市会議員4期。現在、産業・交通・水道委員

<https://akasakahitoshi.net/>  

市会



## 向島地域の住民のみなさんの暮らしを守る

■ 向島秀蓮小中学校の通学路の安全確保の追求。  
京都市に踏切の安全確保を要求してきました。現在、踏切改善の設計図を鉄道事業者が作成中で、京都市が予算化し、来年度から用地買収に入る予定です。  
■ 向島市営住宅のお風呂の改修を京都市の責任で「の請願書を市議会へ提出しました。  
日本共産党以外の議員は、反対しましたが、お風呂の釜の取り換え、傷みのひどい浴槽の取り替え、住宅の部屋の住み替え可能、独居住宅の申し込み回数を年2回から4回に増加の要望が実現しました。  
■ 向島庚申町の民泊中止、向島一の丸町、中島町の民泊を撤退させました。



向島秀蓮小中学校の踏切通学路の安全確保へ



久我本通りの歩道が拡幅

政治の世界にとびこんで 26年 これからもがんばります

教師時代に子どもの家庭が困難に直面するのを目の当たりにし、「政治を変えてこそ、家庭や地域が守れる」と政治の世界に飛び込み、党の勤務員を経て市会議員を16年務めきました。日本国憲法は、戦争しない、貧困と格差のない日本を作ると誓いました。憲法を暮らしの中に生かす、住民が主人公の市政の実現をめざします。

# 切実な願い集め、改革提案で市政を動かす

市政アンケート返信(2021年2月～5月)2400人超、生活相談7000件超(2019年4月～)、事業者訪問120件超(2022年1月～4月)、切実な声をもとに、京都市に対して25次にわたって申し入れを行ってきました。

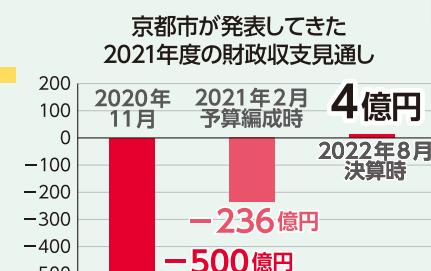


市民のみなさんと共に、切り開きました

- 子育て世帯への臨時特別給付金(2021年)  
当初案は「分割・クーポンでの支給」だったが、組み換え案も提案し「10万円一括現金給付」が実現
- 固定費補助、10/10補助などの中小業者支援
- 「奨学金・テキスト代・家賃支援」など、学生への経済的支援を実施する大学に補助金
- 高齢者施設での定期的なPCR検査の実施

## え!? 実は、黒字!【京都市財政】 (2021年度)

市長は「毎年500億円の財源不足 このままでは財政破たん」(2020年11月)と財政危機を煽っていました。しかし、今年8月、「昨年度2021年度決算は黒字で危機は回避」と発表。「財政破たん」と市民を脅す誇大宣伝」という議員団の指摘通りとなりました。



## 市民への負担増は撤回しかありません

市長は、增收分の内**187億円**を、予定にはなかった公債償還基金の積立に充てています。

### 187億円あれば、やめられます

敬老乗車証一部負担金の値上げ …… 約4億8千万円  
民間保育園への補助金カット …… 約13億円  
学童保育料の値上げ …… 約1億6千万円  
国民健康保険料値上げ …… 約14億円

### 改悪計画も止められます!

市バス運賃8%、地下鉄運賃7%の値上げ! 路線・ダイヤの縮小も  
保育料の値上げ(2022年度は見送り)  
消防職員3年間で150人削減(2022年度は49人)

### 他党は、子どもからお年寄りまでの負担増に賛成

- ▶民間保育園補助金カット 削減を「改善」と評価(維新)
- ▶敬老乗車証制度の大改悪

共産	自民	公明	民フ
反対	賛成	賛成	賛成

京都党・維新の会は、負担金一律2万9440円を提案  
(生活保護・非課税世帯も含む) これまでの約10倍!

## 市民の願い実現、本気の政党は!?

請願書・意見書に対する各党の態度	共産	自民	公明	京都	維新	民フ	立憲
請願「国民健康保険料の引き下げ」(20年2月市会)	○	×	×	×	×	×	×
請願「小学校のような全員制の中学校給食の実施」(21年2月市会、11月市会)	○	×	×	×	×	×	×
請願「消費税5パーセント以下への引下げの要請」(22年6月市会)	○	×	×	×	×	×	×

○: 賛成 ×: 反対



新型コロナ対策  
でも奮闘

## 寄り添い、届け、実現する 確かな議席

2020年以来、十数回の街頭調査活動をはじめ、医療関係者などさまざまな団体・個人を訪問し、要望を伺ってきました。そうした声を力にして、15回の申し入れを行い、入院待機ステーションに高齢者も入院できるよう求めるなど、新型コロナ対策を一步ずつ前進させてきました。



新型コロナ発生直後から医療・介護現場で聞き取り

### 中小企業の願い受け、コロナ支援制度を拡充

日本共産党の国会議員や京都府会・市会議員団には、どうすれば中小企業を救うことができるのかと研究を重ねていただき、600以上の組合員に持続化給付金が支給されました。また、いわゆる「不備ループ」の解決にも力を貸していました。

全京都企業組合連合会会長 大嶋喜好さん

### 京都初 学生支援の扉をひらく

コロナ禍で困窮する学生への「食材提供プロジェクト」が取り組まれ、府議団も相談員として参加。学費無償化をめざす学生団体のみなさんとも連携し、食材支援への補助など京都府としては初の大学・学生支援策を実現させました。



学生団体のみなさんの申し入れと意見交換

### 府議会に寄せられた請願 1853件 すべて党議員団が紹介



#### 請願・意見書に対する各党の態度(一部)

	共産	自民	公明	府民*	維新
選択的夫婦別姓を求める請願(22年6月議会)	○	×	×	×	×
消費税減税・インボイス中止を求める意見書(22年2月議会)	○	×	×	×	×
高齢者医療費2倍化中止を求める意見書(21年6月議会)	○	×	×	×	×
給食や教材費の無償化を求める請願(19年12月議会)	○	×	×	×	×

○: 賛成 ×: 反対

\*民主系

[知事与党(自民・公明・府民・維新)が推進]

### 北陸新幹線延伸(2.1兆円以上)

北山エリア開発(350億円)よりも、

府民の税金は 医療・福祉・教育に使おう

府立大内に1万人アリーナ(175億円)  
植物園を営利の場に

府議団  
LINE公式  
アカウント



府政情報など  
発信中!!

# アンフェアな世の中を変えよう 市民と日本共産党の連帯の力で

コロナ禍で格差拡大  
男女の賃金格差

軽い大企業の税負担・重い消費税